

2020 年 7 月 5 日

東海学生陸上競技連盟

加 盟 校 各 位

東 海 学 生 陸 上 競 技 連 盟

会 長 國枝 秀世

ヘッドコーチ 黒須 雅弘

幹 事 長 宇野 智希

東海学生陸上競技夏季大会の開催について

新型コロナの感染対応で様々な活動制限の中、各大学とも学生の練習に苦慮しておられることと思います。各種社会活動制限の緩和と共に本学連としては、今シーズン最初の競技会として夏季大会を別紙要項の様に 8 月 9 日（日）、10 日（月）に開催したいと考えております。日本陸連のガイドライン（添付参照）などを参考に感染防止体制を取りつつ、密を避けるため例年の 1 日開催を 2 日に延ばして開催することを計画しております。

一方でアンケートによると、大学によって学生の課外活動の制限が様々なレベルで課せられており、現時点では正式に参加申請ができない大学もあると理解しています。学連としては出場可能な学生にはなるべく競技の場を提供したいと考えており、時間と共に変わる警戒レベル・規制レベルを鑑み、まずは仮エントリーの上、エントリー内容の確定を番組編成の時間を確保できる 7 月末まで遅らせること、参加費は事後の納入とすることを考えております。開催種目については夏季であることと集団で走る周回レースを避けることから例年通りトラックは 800m, 1600mR までとし、これらも密集を避ける番組編成を予定するなど感染予防策を取ります。競技機会の少ない男女棒高跳びを追加実施します。全体に競技時間、滞在時間短縮のため、1 日一人 1 種目の制限を設けます（リレーを除く）。

本学連としては本大会が大学間の対校競技会ではなく、選手個人の記録を測る場と考え、未だチームとしての学外活動に慎重な大学に対して、「学外での個人練習」の延長線上として参加を許可頂く様にお願いするものであります。繰り返しになりますが、感染症対策については日本陸上競技連盟のガイドラインに則り、主管の愛知陸上競技協会と議論し、責任を持って進めて参ります。より多くの学生の皆さんが今回の厳しい状況から復帰する最初の機会として夏季大会へ多数、参加頂くことを期待しています。

敬具